

シンポジウムの記録 1月29日(日)じばさんTAJIMA 230名参加

第1部 活動発表 8月26日~29日 宮城県七ヶ浜・石巻・女川

■復興支援ボランティア(小・中・高校生のスピーチ)

生徒らは、いのちネットの被災地支援ボランティアの様子(仮設住宅でのライブ、清掃作業、写真の汚れ落としなど)をプロジェクターで紹介し、5ヶ月後の自分の思いを発表しました。

被災地での朝、若者が続々とボランティア登録する光景。「何もかも失ったが、コウノトリのように東北は必ずよみがえりますよ」と話された被災者との出会い。ボランティアから帰ると生徒らは自分らでできることに取り組みました。ボランティア体験を新聞にまとめたり、生徒会を通して全校生に発表したり…。スピーチは参加者を釘付けにしました。幸せとは、生きるとは…。



●ボランティアから5ヶ月がたち、震災では原発、放射能汚染が大きな問題となっています。被災地は完全な復興には遠い。ぼくにはできるのは小さなことですが、節電です。小さなことが大切だと考えています。



●ぼくには当たり前のように家があり、便利な物に囲まれています。こうした生活をしているとありがたみが薄れてきています。大事なことは感謝することです。命の尊さに気づかせてくれたボランティアでした。また、ボランティアに参加したいです。これからが正念場です。

●現地に行って一番ショックだったのは女川町です。津波で町が更地になっていました。この悲惨なことを少しでも豊岡の人たちに伝えたいと青少年健全育成大会で発表しました。自分の目で見たこと、気持ちを伝えたいと思います。ぼくたちが未来に伝えることが責任だと考えています。

●ボランティアに行っ、今生活していることが幸せであることを知りました。家が流され、風呂も入れなく、テレビも見られなくて…。次に、人は協力しないと生きてはいけません。一人の力は小さいけれど、多くの人が集まれば大きなことができることを学びました。そして、せくなられた人は生きてきたかったでしょう。私たちはその人に分まで生きていきたいです。

●人はつながっています。人はつながりの中で助け合っています。人は助け合いながら生きています。ぼくはボランティアに参加してから、夏にはごみ広い、冬には雪かきをしようと心がけています。





いのちの宅配便は8月から11月、宮城県石巻市へ野菜やお米を届けてきた。総量は野菜63ケース、お米350キ。になる。送付先の石巻市で活動するNPOフェアトレード東北を通じて被災者に手渡ししてもらったり、炊き出しの具材にってもらったりしている。

NPOフェアトレード東北は社会的弱者である精神障害者やニート、自宅避難者、限界集落の一人暮らしの人たちへの支援を行っている。24年度も多くの生産者の協力を得て宅配便を継続していく。

第2部 意見交換会 『大震災復興支援について』

Kさん(高校生) 英語でスピーチ・・・つながるために

但馬スピーチコンテストで発表した内容を報告する。内容としては昨年東北にボランティアで行ったことに関してスピーチをした。東北に行ったのは次につなげるため。東北の方たちをサポートし続けたい。そのためには、自分たち自身が周りの人たち、身近な近所の人たちと助け合い、つながらなくてはならない。



Kさん(米国) ボランティアは日本を救う

昨年の東北の地震そして原発事故と続いた災害に国内、国外からの支援があった。復興までの道りは遠いと思うが、たくさんのボランティアの参加があったことは人間の崇高さを示している。そしてそのことが人々に勇気を与えた。日本は困難を協力して克服できるであろう。

Bさん(神戸で活動・外国の方)

ボランティアは日本を救う

東北の震災に何をしたらいいのかヒントを探してこの催しにやってきた。先ほどの子供たちの発言の中の「小さい力が集まって大きなものになる」に教えられた。日本人の団結力は歴史の中で証明されている。国籍、宗教にとらわれずに協力できるのではないかと感じた。

渡辺謙(俳優) のダボス会議スピーチから学ぶこと

ダボス会議での渡辺謙さんのスピーチ。「・・・私たちはそうして前へ前へ進み、上を見上げてきました。しかし度を超えた成長は無理を呼びます。日本には「足るを知る」という言葉があります。・・・再生可能エネルギーに大きくかじを切らなければ、子どもたちに未来を託すことはできないと感じています。私たちはもっとシンプルでつつましい、新しい「幸福」というものを創造する力があると信じています。がれきの荒野を見た私たちだからこそ、今までとは違う「新しい日本」が作りたくないと切に願っているのです・・・」
(会場で紹介しました。)

24年度復興支援プロジェクトの予定 ～ご協力をお願いします～

いのちの宅配便 春から2ヶ月に1回程度、野菜やお米を被災地に送付します。

ボランティア 8月に被災地へ2回目のボランティアバスを運行します。

ーいのち支え、つながるをテーマに、地域づくり、環境づくりをする市民団体ー